

## 4. SNPによる連鎖解析

### 4.1 はじめに

連鎖解析は、疾患遺伝子同定の基本的手法として挙げられ、アルツハイマー病、本態性高血圧、II型糖尿病などの多因子疾患においても、その効力を発揮してきた。従来の 連鎖解析 で用いられる遺伝マーカーは、多型性に富むマイクロサテライトが主流であったが、近年、国際HapMap計画が完了するなど、SNPデータベースの充実が著しく、それを受けて、SNPを用いた 連鎖解析 が行なわれるようになった。膨大な数のSNPを同時に用いることにより、多型性の低さを補って余りある、豊富な情報に基づいた信頼度の高い解析が可能となっている。ここでは、連鎖と 組換え の定義といった基本的な事柄から、SNPを用いた 連鎖解析 の世界的な実情に至るまでの詳細を述べる。